

国土交通省被災地の復旧・再建に関する検討会議（第1回） 議事概要

1. 日 時 平成23年3月30日（水）16:30～17:20
2. 場 所 中央合同庁舎3号館（国土交通省）4階幹部会議室
2. 出席者 三井副大臣（座長）、大臣政務官
事務次官、技監、国土交通審議官、官房長、関係局長等
4. 議 題 第1回被災地の復旧に関する検討会議の報告 等

【概 要】

- 冒頭、三井副大臣より、今後の復旧・復興に当たっては、省内各局が連携してしっかりと取り組んでほしい旨、挨拶があった。
- 総合政策局より、政府の「被災地の復旧に関する検討会議」第1回会合の結果について報告があった。
- 都市・地域整備局より、今回の震災による市街地の津波被災状況について報告があった。
- 総合政策局より、今後の復旧方針及び震災に対応するための法律・政省令改正の検討状況について報告があった。
- その後、意見交換が行われた。概要は以下のとおり。
 - ・ 今回の震災は被害が大きく、応急復旧にも相応の時間がかかる。また、現状に戻すだけでなく、地域の安全性を高めていくことが必要。
 - ・ 雇用の創出の観点からは、経済・産業基盤の早期復旧を図ることも重要。
 - ・ がれきの処理について、撤去だけでなくリサイクルを行えば、雇用の確保にもつながっていく。
 - ・ 被災地の復旧とともに、働く場所の確保も重要。瓦礫処理は雇用

という観点から考えることも必要。

- ・ 阪神・淡路大震災では2000万トンの瓦礫を処理した。今回はさらに量が多く、非常に大きなプロジェクトになる。
- 最後に、三井副大臣より、今後の復旧方針及び震災に関する法制度等について更なる検討・調整を早急に行うよう、指示があった。